

教育だより

とっとり 夢ひろば

TOTTORI YUMEHIROBA

VOL. 108

2024. December

鳥取県教育委員会



倉吉東 国際バカロレア合同授業



江原道教育庁との児童生徒及び教員交流

鳥取商業 グローバルビジネス

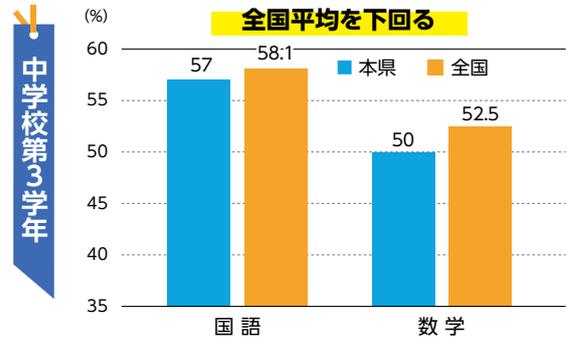
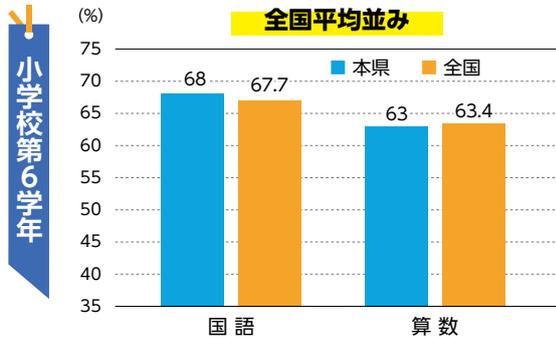
<トピック> ・世界とつながる ・地域とつながる ・冬のイベント ・冬休みオススメの本

学力

教科調査より

令和6年度 全国学力・学習状況調査

「今、求められる学力」を測り、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てるため、今年度も小学校6年生と中学校3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。



【小学校国語:「思考・判断・表現」を問う問題と記述問題の全国平均との差】

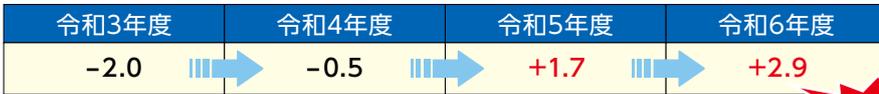
※「思考・判断・表現」…知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な力

○「思考・判断・表現」を問う問題の全国平均との比較



+4.4

○記述問題の全国平均との比較



+4.9

小学校国語では「思考・判断・表現を問う問題」と「記述問題」の正答率が年々向上しており、授業改善が着実に進んでいることが分かります。



学習状況

児童生徒質問調査より

成果



鳥取県では、将来の夢や目標を持ち、地域や社会に貢献したいと思う子どもが増えています。

夢や目標を持っている。

小学校81.8%(-0.6%)
中学校66.5%(+0.5%)

地域や社会のために何かしてみたい。

小学校83.6%(+0.1%)
中学校76.8%(+0.7%)

※()内は全国平均との比較

課題

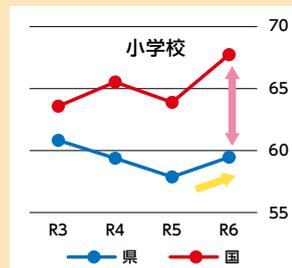


自分の考えを工夫して発表することに課題が見られます。

自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表している。

小学校59.5%(-8.1%)
中学校59.9%(-4.9%)

※鳥取県と全国の肯定的回答の割合の推移(R3~R6)



令和6年度 とっとり学力・学習状況調査

この調査は、今までの自分の結果と比較して「**学力がどれだけ伸びているのか**」を小学校4年生から中学校3年生までを対象として調査しています。

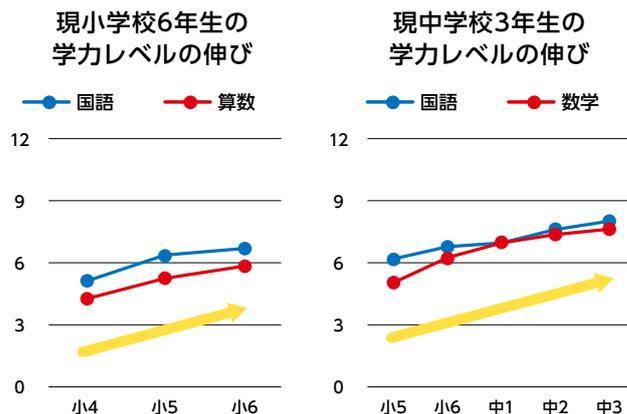
● 学力レベル ●

※学力レベルは1Cから12Aまでの36段階
※()内は、同一集団の児童生徒の前年度からの学力の伸び

	国語	算数・数学
小4	6-C	4-A
小5	6-A(+1)	5-B(+1)
小6	7-B(+1)	6-A(+2)
中1	8-C(+2)	7-C(+2)
中2	8-B(+2)	8-C(+3)
中3	8-A(+1)	8-B(+1)

● 学力レベルの伸びの変化 ●

(現小学校6年生、中学校3年生)



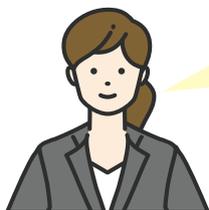
経年の学力の「伸び」を把握しています。

一人一人の学力の「伸び」に着目！

- 伸びた子どもの頑張りを認めることで、一層やる気を引き出したり、より高いレベルへの挑戦を促したりするなどの支援をしていきます。
- 伸び悩む子どものつまづきを早期に発見することで、様々な支援をしていきます。



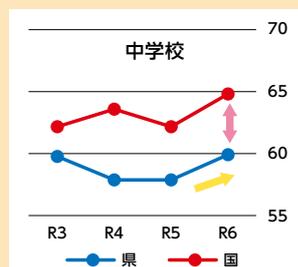
鳥取県の子どもの学力は全学年で伸びています！



一方で、自分の考えを発表する機会に工夫して発表した児童生徒ほど、教科の平均正答率が高いという結果も出ています。

「思考力、判断力、表現力等」の育成に大きく関わる要素だといえます。

授業の中で、自分の考えを持つことや、それを発表する機会を増やすことが必要です。



鳥取県の取組

鳥取県として、小・中・義務教育学校における重点目標を以下のように設定しました。

自分の考えを持ち、工夫して表現する子どもの育成

重点目標の達成に向けて、このような授業づくりに取り組みます！

- (国語の例)
 - 教科書で身に付けたことを、初読の文章で活用する機会を設定します。
- (算数、数学の例)
 - 問題の解き方などを相手に分かりやすく説明する機会を設定します。
- (理科の例)
 - 科学的な知識や言葉を用いて考えたり、説明したりする学習活動を充実させます。

倉吉東高校国際バカロレア

令和6年4月から、第1期生の授業が始まっています。

国際バカロレアとは

国際バカロレア（以下IB）は多様性を大切にし、世界平和に貢献することができる若者の育成を目的に設置された国際水準の教育プログラムです。倉吉東高は2022年9月、正式にIBの認定校になりました。授業では、生徒が主体となって探究型の学習を行います。



お披露目式では足羽教育長が、鳥取県におけるIBの門出を祝福しました。

IB生は海外大学だけでなく、日本の大学にも進学します。

日本の大学進学後に、交換留学として海外の大学で単位の取得を希望する人にも、IBはおすすめのプログラムです。それは、英語以外の科目も英語を使って学ぶ経験を倉吉東高でできるからです。

様々な国や大学を知ることにより、海外大学のよさや日本国内の大学のよさを幅広く比較し、進路選択をしていきます。

子どもたちの「夢」を実現するために、奨学金の御案内や説明会を開催しています。

ぜひ、ふるさと鳥取と世界がつながった舞台上で活躍する人を目指しませんか。

在校生の声



きとう はるみ
木藤 暖心さん 2年生(第1期生)

IBの授業では、一般的なテストがあまりない代わりに、レポート課題やスライドを作って発表したり、美術でも制作物があるなど様々な方法で成果物(アウトプット:学んだことの外化)を作って、表現しています。そのため、自分で決める場面が多く、多様な成果物に取り組む中で、自分自身のことも振り返りより深く考える機会になっています。

忙しい中でも、とても充実したIBの学びの日々を送っています。

授業内容だけでなく、スケジュールの管理や優先順位をつけること、自分が決めたという責任を感じながらも心身のバランスを保つことなど、大人になってからとても大切なことも経験しています。

IBはふるさと鳥取と世界をつなぐパスポート!!



シンガポールのIB校であるセントジョセフ高校の生徒が来校され、図書館において科学の授業交流を行いました。



数学の授業は全て英語



英語の授業でネイティブ教員と会話



2期生も頑張ります



芸術(音・美)を選択するコースがあります

問合せ先 高等学校課 電話：0857(26)7917 FAX：0857(26)0408

